

野菜や果物は無駄のないばら売り=ドイツのスーパー

店のレジ袋は有料

■1個単位で無駄なく購入

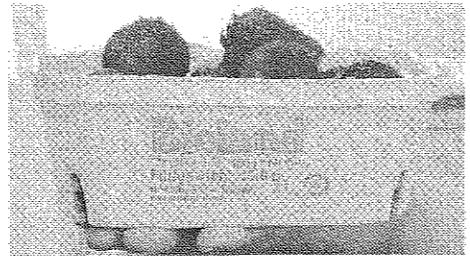
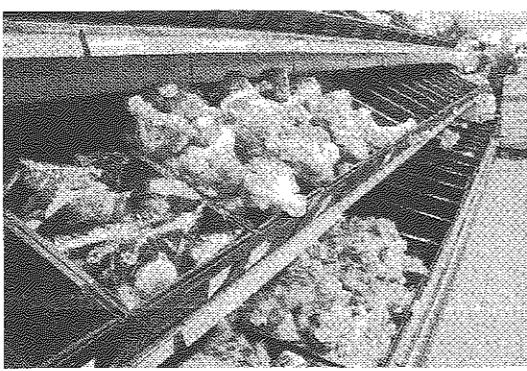
ドイツでは数店のスーパーや駅の売店で買い物をした。注目されたのは、日本では無料でくれるレジ袋が有料だったこと。大手チェーン「ALDI」でレジ袋を「購入」したところ、0.09計(日本円で約13円=消費税16%含む)だった。一緒に買ったガムは、食品として消費税は7%に軽減されていた。

イバッハに商品を詰め込んでいたが、有料レジ袋を持ち歩いている人もある程度見られた。店や買い物客によって、レジ袋の利用に差があった。

多くのスーパーの店頭では、野菜や果物は、日本のようにビニール袋に入れてまとめ売りされているのではなく、1個単位のばら売りをしている。ハムや肉類も1枚から買えるようになっていた。必要な量だけ購入でき、無駄をなくしている。

デンマークのスーパーではビニール袋に入った野菜が売られていた

レジ前で売られているレジ袋=ドイツ
買い物客の多くは持参した袋(マ



■環境負荷の少ない紙製容器

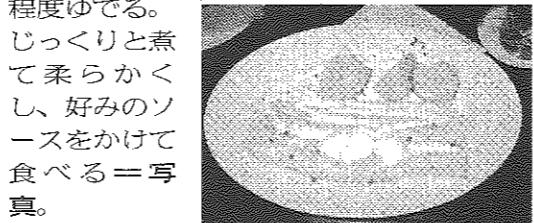
イチゴを手に取ると、容器は紙製。日本で使っている透明なプラスチック容器は見当たらない。卵もばらか、紙製パックで売られていた。

ドイツは、包装容器廃棄物の収集・リサイクルに、生産者責任制度が導入されている。容器の材料種別に差別化された従量料金が設定されていて、環境負荷の大きいプラスチックは、紙に比べて数倍の負担金が生じる仕組み。この結果、メーカー側は環境負荷の少ない材質、軽量化した包装容器に転換している。

ドイツ初夏の味

ドイツで初夏の匂の味と言えばホワイトアスパラガス。季節になると屋台が出たり、ホワイトアスパラガス狩りなども行われる。

代表的な調理方法は、皮をむき、熱湯にバターと砂糖を入れ15—20分程度ゆでる。じっくりと煮て柔らかくし、好みのソースをかけて食べる=写真。



県環境アドバイザー
欧洲視察に参加して

青木 京子さん(59)
=前橋市川原町

ドイツのスーパーでは日本で見られるようなプラスチック製のトレーがなかった。現地でチエリーを買った時には昔懐かしい茶色の紙に包んでくれた。ごみを少なくしようという意気込みを感じた。日本に帰り、もうトレーに入ったものは買わないようにしようと思った。



和村森下出
昭和村出身
日本食ビストロ「Soba Soba」の店長
を務める昭

日本の食伝える

日本食の良さを伝えたい

私は病院、福祉施設で栄養士として働いているので、食糧問題に関心があります。今、日本の食糧自給率は40%まで下が

緑の意見箱

rajin.com

「緑の意見箱」への投稿募集
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入してお寄せください。字数に制限はありません。匿名希望の方は明記を採用の方には、ドイツの布製マイバッグを差し上げます。先は〒371-8666 上毛新聞社広告局環境特集係(住所不要)FAX 027-254-9904/Eメール ad-edit@

身の清水恭代さん
月にオープン。すし
丼物、ヌードル類など
豊富なメニューをそろ
え、人気を集めている。
ドイツではヘルシーな食事への関心が高ま
って渡欧。ドイツ生活は27年になる。「市内に日本料理店は何軒もあるが、簡単に食べられるところがなかった」さんは「ドイツ人が喜んで受けている。清水さんが受けている。清水さんは「ドイツ人が喜んで食べてくれている。もうとつともう」と話す。

田沼富美子さん(31)
病院栄養士
大泉町吉田

残す環境とエネルギーを
ない時代に生きていら思
います。

環境については「フランクフルトは外国人が多いのでごみ分別が多いのではないか、住宅地ではごみ置き場を植物で囲むなど、ごみを見せない工夫をしている」と話す。

国内では農業従事者の高齢化で休耕田が多くなっています。そこを利用して野菜や果物を栽培して、小中学生にもっと農作業を体験させてはどうでしょうか。

日本が抱えているごみの問題やその他の環境問題について、私たち国民に伝えたり、教えてほしい。実情を知れば、私たちにできることが見えてくると思います。

た子供の服は人にあげたり、バザーに出す。買いたい物では、環境に配慮した商品を選ぶ。近くに出掛け水道もこまめに止める。電気はこまめに消したり、フライパンなどに付いた汚れは排水口に流す前に新聞紙でふき取る。生ごみはコンポストに入れて堆肥にする。小さくなればと私は思いました。